

進路だより

令和3年5月8日

兵庫県立姫路聴覚特別支援学校

進路指導部 発行

新年度がスタートして1ヶ月が過ぎました。進路指導部では、今年度も進路の情報をお伝えする「進路だより」を発行していきます。今年度、皆さんの進路指導を担当するのは高等部は井村・天野・寺前・谷本、中学部は栗山・大森、小学部は加山の7名です。進路行事の企画・運営、進路開拓、進路情報の収集などに協力してあたり、皆さんの希望する進路の実現のために精一杯、進路情報の提供に努めていきたいと思っています。

今年の進路指導部主催の最初の行事は、進路懇談会と高等部3年生の進路相談でした。今年はコロナ感染拡大の影響もあり、進路懇談会は高等部の保護者様のみの参加とさせていただきました。講演等の様子は、以下の報告をご覧ください。また、進路相談は就職希望者の居住地管轄の3職業安定所の指導官に来ていただきました。今年度の卒業学年となる生徒は8名です。一人ひとり、ゆっくり時間をかけて相談を進めていき、やや緊張した雰囲気の中、それぞれの希望の職種や勤務地を担当者に真剣に伝えていました。

進路懇談会のお話より・・・

進路懇談会の講話Ⅰは、姫路公共職業安定所（ハローワーク姫路）の主任就職促進指導官 中村 利和様より、『卒業後の就職に向けて』という演題でお話をいただきました。

1. ハローワークとは、どんなところ？

- ・仕事に就きたい「人」と企業の「仕事」を結びつける国の機関。
- ・仕事を探している人や、仕事をしてくれる人を探している会社の人を利用。

求人情報の検索や、
就職相談ができます！



2. 最近の雇用状況

(1) 有効求人倍率（令和3年2月末現在）・・・厳しい状況。

兵庫県・・・**有効求人倍率0.94倍**（仕事を探している人100人に対して、
94人分しか求人（仕事）がない、ということ。）

(2) 高校生の就職状況（令和3年1月末現在）

兵庫県の状況 求人数 13,368人、就職希望者数 5,024人、就職内定率 94.8%

(3) ハローワーク姫路管内の雇用状況

令和元年度 新規登録者 814人、就職者数 356人（うち聴覚障害者 9人）

3. 「働く」のに必要なことは？

まず、みなさんが「働きたい」という気持ちを持つことが大切です。

<どんな人が「採用します」と言ってもらえるのか。>

- 指示されたことを理解し、それを実行できる人。
- 一生懸命、仕事に取り組むことができる人。
- 毎日、会社が始まるまでに、出社ができる人。

この3つを続けることができる人に、会社は「採用します。」と言ってくれます。

4. 学校生活において・・・

<次の3つを、毎日、くり返し頑張ってください。>

- 指示されたことをしっかり理解し、それを実行すること。
- 毎日一生懸命、手を抜かずに授業をうけること。
- 毎日時間までに登校し、遅刻をしないこと。

この3つができれば、実習に行っても頑張ることができます。

会社の人から、「採用します。」と言ってもらえるように、また就職してからも働き続けられるように、頑張ってください。

5. 終わりに・・・

みなさんが体験する就業体験（職場実習）は、就職するための練習です。卒業したら、自分が働きに行くかもしれない会社です。真剣な気持ちで、就業体験に行きましょう。悩んだ時はすぐに保護者や学校の先生に相談を。また、ハローワークもぜひ利用してください。

講話Ⅱは、アンビック株式会社 総務人事課 山岸夏樹様より『これから就職を考える皆さんへ』という演題でお話をさせていただきました。



1. 会社紹介

東証1部ニッケ（日本毛織）グループの中核会社

所在地：姫路市城東町 180 番地

従業員：217名

事業内容：不織布やフェルトおよび、これらを
原材料とした産業用資材の製造・販売

2. 高卒生や障害者の採用状況など

2021年度、男子4名採用（工場オペレーター）。インターンシップも実施。（姫路聴覚から、も昨年度1名受け入れ）。1997年卒の卒業生も活躍中。作業指示や普段のコミュニケーションは、相手の口元を見ておおよそ理解できているが、必要に応じて筆談を取り入れており、不自由は感じていない。また、機械の異常を知らせるパトライトを設置したり、異音がしたら周囲が声掛けをしたりしてサポートしている。

3. 学生と社会人の違いとは？（プロになる、ということ）

- ・「責任」を果たしてお金をもらうのが「プロ」。
- ・社会では、誰も「ここはテストに出るから大事です！」とは言ってくれない。
- ・問題を起こしたら「自分だけのハナシ」では終わらない。

4. 新入社員に、研修で伝えていること

- ◎ 当たり前前のことを、当たり前前に行おう！あいさつ、返事、意思表示、時間を守る、メモをとる、謝る、報告・連絡・相談、体調管理、約束を守る、等々。当たり前前ができないと、信用を失う。信用は、1日では作れない。1日1円、貯金をしていくようなもの。信用を積み重ねていくのはとても大変だが、失うのは本当に一瞬。
- ◎ まずは何にか、可愛がられる存在になろう。可愛がってもらえると色々アドバイスをもらえたり、気軽に相談することができる。
- ◎ 「今、自分ができること（自分の役割）」を考えよう！入社したばかりで経験もないと思うが、何かできることはあるはず。今年の新入社員は、「あいさつならできます。」とか、「私の今の仕事は研修です。などと答えてくれた。」

5. 「何かすることありますか？」は魔法のコトバ

- ◎ 自分からどんどん発信し、情報や仕事を取りに行こう。待ちのコミュニケーションはNG。人に聞く力を身に付けよう！わからないこと、疑問に思ったことは、すぐに周りの人に聞いたりして解決してほしい。困ったときに、どのように発信していくか、特にSOSの出し方を考えていってほしい。

6. 先輩からのメッセージ

- ◎ まずは「挨拶」から始めましょう。聾、健聴者関係なく、挨拶しないと内気なイメージを持たれます。また、はじめは筆談をお願いすることはあるだろうけど、慣れてくれば身振りで意思疎通できるようになってきます。挨拶して仲よくなれば相手も可愛がってくれ、お世話したいなと思うはずですよ。
- ◎ 挨拶は全ての基本です。自分から積極的に“素敵なお挨拶”をしましょう

7. たくさん叱られるすすめ

- ◎ 年齢が上がるほど、叱ってくれる人は少なくなります。叱ってくれる人、注意してくれる人を大切にしよう！また、叱られることは、「さらに上のステージに上がって欲しい」という愛情です。甘く、優しい言葉は、本当の愛ではありません。
- ◎ 言い訳をせず、謝り、「なにくそ」と思って這い上がろうとする人間が一番強くなります。言い訳すると信頼をなくしますので、気をつけましょう。

生徒の感想文より・・・＜抜粋＞

- 学生と社会人の違いがあるので、きちんとしようと思いました。挨拶や質問や返事など、これから続けようと思えました。聾とか健聴に関係なく、頑張りたいと思います。
- 今日話を聞いて、将来という「未来」が「現在」になりつつあるということに緊張を覚えました。責任とは自分だけでなく他の人も含むこと、可愛がられるためにもまずは挨拶をしっかりすること、など具体的な話を頂き、働くということに対してより深くイメージできたと思います。
- 僕は分からないこともまだまだたくさんありますが、指示を理解し、きちんとできることをしていこうと思います。聞こえる人とのコミュニケーション方法として、筆談を身に付けたい。
- 働きたいという気持ちがいざ大切だと言われたので、その気持ちを持ち続けていきたいと思いました。また、挨拶もしっかりできるように気をつけて、学校生活を送っていきます。

- コミュニケーションが苦手なので、「何かすることありますか？」の言葉を知れてよかったです。感情のコントロールも苦手なので、直していこうと思いました。
- 学校では筆談はあまり使いませんが、社会に出ると必要になると思うので、これから筆談も練習していこうと思います。また、体調管理の大切さや挨拶、時間を守ることの大切さがわかりました。自分の積極性を少しずつ上げていきたいです。
- 将来の夢は何がしたいかまだ分かりません。先生とも相談しながら決めていこうと思います。これからは、自分の気持ちをはっきり伝えるのが必要だと思います。自分のできないことにも挑戦して、将来困らないよう、自分のできることが増えていけばいいなと思いました。
- お二人の講演を聞いて、まず「自分から何かをやる」ことが大切だと思いました。僕ももっと自分から進んで取り組んでいける人になろうと思いました。
- 卒業後の就職の話がたくさんあって、参考にしたいと思いました。学校と会社の違いがよくわかりました。今年は進路決定の年なので、家族ともよく相談して決めたいと思います。就業体験もいろいろして、経験してできたことを増やしたいです。
- 仕事をする上で大事なことが、2つの講演で同じことを話されていたので、本当に大切なんだなと思いました。「何かすることありますか？」の言葉は、次の就業体験で使ってみようと思いました。
- はじめは「いつか就職するから」と思って聞いていたけど、改めて自分の将来をしっかりと考えないといけないと思いました。今からできることをコツコツ始めていきたいと思いました。
- コミュニケーションを取ることは働くことに大事ですが、話すことが苦手です。もう少し勇気を出して会話ができるよう、頑張っていこうと思います。

ご参加いただいた保護者の方々の感想より・・・

- ・わかりやすく丁寧な説明で、子どもにもわかりやすかったと思います。以前、卒業生が就職したお話を発表される機会があったと思います。そういう機会をまた、与えてほしいと思います。
- ・大人が聞いても、背筋がピンと伸びるお話でした。子供たちにも心に響いたと思います。これから少ししかない学校生活のなかで、「あいさつ」や「コミュニケーション」を一番に考えて過ごして欲しいと思います。
- ・家でも何度も伝えていることですが、やはり親から聞くと心に入らないことも多いと思うので、他の人から話して頂けるのはとてもありがたいです。

- ・今までぼんやりとしていた就職について、はっきりと現実味を帯びてきました。当たり前のことを当たり前にするというのは、簡単なことのように、実は難しいのかもしれませんが。小さな積み重ねを意識して、頑張ってくださいと思います。

お忙しい中、ご参加いただきました保護者の皆様、

ありがとうございました。



今年度の進路行事予定

- 5月6日(木)～開始 高等部進学希望者の補習
- 7月4日(日) 高1・2進学希望者の総合学力模試(記述)
- 7月12日(月)～16日(金) 就業体験(高等部2・3年) 校内実習(1年)
わく・ワーク体験(中学部2・3年)
☆ 就職希望の3年生は随時、実習が入ってきます。
- 10月25日(月)～29日(金) 就業体験 高等部1年
- 11月7日(日) 高1・2進学希望者の総合学力模試(記述)
- 12月中旬 「卒業生の体験談を聞く会」(詳細は別途案内)
- 1月16日(日) 高1・2進学希望者の総合学力模試(記述)
- 2月6日(日) 高2進学希望者 マーク模試